



2学期を終えて

校長 堀 江 充

2学期が終わります。学習発表会やたくさんの体験活動、様々な学習を通して多くのことを学んだ2学期でした。冬休みは夏休みが長かったため、例年より少し短いですが、2学期に学んだことをしっかり振り返り、短い3学期に備えてほしいものです。

さて、保護者・地域の皆様には、お忙しい中、アンケートへのご回答大変ありがとうございました。のちほど、結果についてはお知らせし、教職員、PTA、学校運営協議会の皆さんともよく協議し、東神楽の児童が更に健やかに成長できるようともに考え、取り組んでいきたいと思えます。

北海道のコロナの感染状況は徐々に良くなっているとはいえ、依然高止まりです。今年の世相を表す漢字も過去2年と比べるとコロナ禍を象徴する漢字は減少し、「楽」「幸」「旅」といった漢字もランクインしたと聞きます。年末年始出かける方もきっと増えることが予想されますが、しっかりと感染対策をとり、予防しながら楽しんで頂ければと思います。

外もすっかり雪景色、気温も低くて少し気分も下がりがちになりますが、来年は今年よりもっといい年になるといいですね。特に、6年生にとっては、最後の学期となります。充実した小学校生活になるよう残りの学校生活を過ごしてほしいものです。

校外学習・出前授業・講話

12月1日(木) 全校朝会で学校運営協議会委員の野々瀬さんが「仲間の大切さについて」講話をしてくださいました。今年の春に、30年前の同級生6人と再開したそうです。現在まで、農業土木、システムエンジニア、テレビ局の番組担当、洋服販売、農家、ライティングデザイナー、コピー機販売、自動車整備など、東神楽町はもとより、東京や世界でも活躍しています。最後に野々瀬さんから子ども達に、「進んだ道はみんな違うけれど、誰かに喜んでもらえるように一生懸命頑張っています。東神楽小学校で6年間一緒に学び、遊び、時には喧嘩したこともありました。大人になっても当時の思い出や将来の夢を話すことができるかけがえのないお友達です。皆さんの隣の人、前の人、後ろの人、それぞれの人生を歩んでいくと思いますが、何かつらいことがあったとき、きっと親身になって相談にのってくれると思いますので、大切に良い仲間として接して行ってください。

間違いなく、あなたの宝物になるはずです。」というメッセージが届きました。



12月1日(木)、4年生が北海道や東神楽の歴史を学ぶ社会科の学習のまとめとして、博物館を見学してきました。写真で見たり、文章で読んだりした物を、「実物」として見ることができ、改めて発見することが多かったようです。



12月8日(木)、3年生は総合的な学習の時間に地域の元気づくり課の山田さんから、さけの姿や名前の由来・さけの一生・川に放すまでの育て方(水温が高くなならないよう8℃くらいを保つこと、ふ化が始まったら水槽の水をよく変えること、稚魚になったら餌をあげること)等について教えていただきました。また、12月14日(水)には、地域の元気づくり課から400個のさけの卵を頂きました。さけの卵を育てながら成長の様子を観察したり、さけについて調べたりしています。育てたさけは、3月20日(月)には放流を行います。



異学年交流①

11月24日(木)に、4年生(国語の学習で「新スポーツを考えよう」という単元があります)が3年生を招待して、新スポーツを楽しみました。4年生が、3年生に楽しんでもらおうと「4チームドッジボール」「あみだじゃんけん」「なぞなぞマラソン」の3つのスポーツを考えました。3年生にとってどれも初めて行うものでしたが、とても楽しく参加できました。



いじめ防止の取組について

11月から12月にかけて全校で、いじめ防止のための学びをすすめています。日頃から適時、指導を行っているところですが、改めて、

- ・道徳授業(いじめ防止に関する内容)
- ・ICT教育(オンラインゲーム等のトラブルに関する内容)

・ソーシャルスキルトレーニング(対人関係に関する内容)を行っています。「いじめ(相手が嫌な思いをする冷やかしかからかい、陰口、暴力、無視など、絶対に許されない)」という意識が、児童に定着することをねらいとしています。各学年の大まかな内容です。□は児童の考えです。一部紹介します。

☞1年生【だれにたいしても】「ジャングルジム」

- 友達、家族、小さな動物にも優しくしていく。
- 意地悪する人がいても、自分がいい人になる。
- 友達と仲良くしていく。けんかをして、仲直りしたり、困っていたら助けたりしていく。

☞2年生【だれにたいしても】「雨ふり」

- なかよしではない子がいてもなかよくできるようないてのこともっとする。
- だれにでもやさしくじぶんからすなおにごめんなさいという。

□いじわるとかなかまにいれてあげないっていわれないようにしたいです。

☞3年生【公平に接することは】「なおとからのしつもん」

- にがてなひとでもすこしはやさしくするとなかよくなれる。

□あまり話したことがない人でも仲良くしてあげる。そしたら相手もうれしい気持ち。

□人によって態度を変えたいやなことを言ったりしてそれをつづけていったら友だちがいなくなってしまうからあぶないよ。

☞4年生【公平な態度で】「ちょっとまってよ」

いじめに関するビデオ鑑賞

□自分はいじわるな気持ちで言っていないくても、相手はいやな気持ちになることがあるとわかったので、気をつけようと思った。

□言う言葉は、よく考えないとだめだと思った。

□「いじめかな」と思ったら迷わないで相談し解決に近づけようと思った。見て見ぬふりはしないようにする。

☞5年生【生きる喜び】「アンパンマンがくれたもの」

□生きる喜びは人それぞれ違う。だからこそ助け合う。そして、生きる喜びは、だれであろうとバカにしてはいけない。

□人々は夢や希望に向かって生きているのだと思い、より生きる大切さが分かった。これからも命を大切にしていこうと思う。ぼくも、夢や希望を見付けて、向かっていこうと思った。

□今生きていることが大事。たとえ辛いことがあっても、前へ進んでいく。

☞6年生【誰に対しても】「泣き虫」

□苦手な人には冷たく接したり、仲の良い人には親しくしたりと少し態度が違うことがあったから、少しずつでも直していきたい。

□苦手な人には少し嫌な態度をとってしまったから、これからは誰に対しても同じ態度で接していきたいです。

□誰にでも積極的に公平な態度で接することができるようにする。

異学年交流②

12月15日(木)に、2年生(生活科の学習で「動く手作りおもちゃ」という単元があります)が1年生を招待しました。2年生が「わりばしでっぼう」「めいろ」「ボードレース」「ジャンプロケット」「ヒューンロケット」「ビュンビマおとし」「パタパタぐるま」「ごろんごろん」の9つのおもちゃを考え、1年生が体験し、とても喜んでいました。

